

病院施設整備

製鉄記念室蘭病院、老朽化で現地建て替え、工期5～10年見通す

(社医)製鉄記念室蘭病院(北海道室蘭市知利別町1-45、Tel.0143-44-4650)は、現地建て替えを行う。詳細は検討中だが、工期は5～10年かかる見通しで、病棟、外来棟、管理棟などを順次スクラップ&ビルド方式で建て替えていくもよう。

同病院は、建物の老朽化や狭隘化が進んでおり、建て替えの方向を検討してきたが、現地建て替えを行う方針を固めた。建物は順次建て替えていくもようで、新施設には屋上ヘリポートを設置し、災害や救急医療を強化する方針だ。

現在の病院は、347床(うちICU4床、回復期リハビリ45床休止中)、27科(内、循内、糖内、呼内、消内、血液内、腫瘍内、小、外、呼外、消外、乳、整、心血外、脳神外、皮、泌、眼、耳鼻、産婦、リハ、放、麻、救急、病理、精、腎内)、ピロリ菌外来、ストーマ外来、緩和ケア外来、腎移植外来を設けている。2024年1月には、能登半島地震に災害派遣医療チーム(DMAT)を派遣するなど災害医療に力を入れている。

なお、室蘭市では、「室蘭市地域医療連携・再編等推進協議会」において、西胆振圏域全体の将来の人口動態、医療需要や医療従事者の勤務環境を見据え、地域医療構想の動向にも考慮しながら、室蘭市内3病院(製鉄記念室蘭病院、日鋼記念病院、市立室蘭総合病院)が担っている医療機能の連携・再編などに係る協議が行われてきた。

市立病院においては、同協議の動向を注視しながらも、当面の間はこれまでと同様に西胆振圏域の医療・介護施設などとの協力・連携のもと、引

き続き、がん医療、救急医療、災害医療といった医療機能を提供していく方針だ。

むつ総合病院、新病棟1期を再々公告、3月10日に開札、27年3月着工へ

むつ総合病院を運営する青森県むつ市や大間町などの5市町村からなる一部事務組合下北医療センター(青森県むつ市小川町1-2-8、Tel.0175-22-2111)は、むつ総合病院新病棟I期工事について、一般競争入札で再公告した。参加申請は2月28日まで受け付けており、3月10日に開札する。工事着手期限日は2027年3月1日まで。全体の工期は以前と同様の30年2月28日までで、実工期は36カ月としている。

むつ総合病院は青森県むつ市小川町1-2-8に位置しており、現在の病床数は434床。診療科目は内科、小児科、リハビリテーション科など21科目。施設のうち入院病棟は建設から40年が経過しており、耐震基準の問題からも建て替えを行うこととなった。

施工者の選定にあたって、23年8月に公告を行った際には参加申請が無く不調となった経緯がある。その後に大手建築業者にヒアリングを行った結果、施工体制や技術者の確保が難しいという声が寄せられたことから、余裕期間制度の導入や工期に大幅な余裕の導入、事業費の見直しなどを行い、24年には再度公告を行っていたが、予定価格超過のため不調となった。その後随契の可能性などを探っていたが、それを断念し事業費を見直した後、今回改めて公告を行うこととなった。

新病棟は地下1階地上6階建て、延べ2万4539m²、病床数は一般、感染症計330床で、全体では既存の精神病床54床と併せて計384床となる。地下1階にがん医療センターとサービス機能